

Newsletter vol. 89 (Jul & Aug., 2022)



長沼地区から千曲川を臨む【長野市】

#### 日本

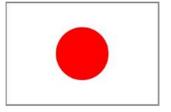
- ▼長野:長沼地区復興まちづくり支援第11回復興リレー講座の開催
- ▼講師派遣:
- ①令和4年度近畿ESDコンソーシアム総会記念公開シンポジウムへの 登壇
  - ②鳥羽市立鳥羽小学校校内特別研修会での講演
  - ③外務省主催「日本・モンゴル学生フォーラムでの講演
- ④地学団体研究会(長野)・シンポジウムIII: 「信州の自然災害と防災・減災を考える」での発表

#### フィリピン

▼台風22号 ライ(現地名オデット)被災校へのクリーンアップキット 供与/貸与と被災状況調査(継続)

#### ■ ミャンマー

▼子どもたちの教育継続支援の実施とご協力のお願い(継続)



# 日本

# 長野:第11回これからのまちを考える復興リレー 講座「集落部のまちづくりの可能性」の開催

7月22日(金)、令和元年東日本台風で被災した長野市長沼地区にある「長沼地区住民交流ハウス」に東北大学の姥浦道生先生をお招きし、「これからのまちについて考える復興リレー講座 『都市計画とまちづくり―これからの集落部のまちづくりの可能性―」を開催しました。

第11回目となった今回の復興リレー講座では、会場からオンラインで配信するハイブリッド方式とし、長沼地区住民、長野市行政、そして関心を寄せる全国各地から計25名が参加しました。冒頭では、長野市復興推進特別対策室の小池室長と長沼地区のまちづくり委員会の小川委員長からそれぞれ一言ずつ頂きました。姥浦道生先生のご講演は、都市計画とは何か、というマクロな視点に始まり、そのトレンド変化から、昨今進められているコンパクトシティの本来意図するところ、そして地区のまちづくり計画策定に向けたステップと共に、その実現に向けたツールを事例と共にご紹介頂きました。

参加者から寄せられた感想では、「市街化調整区域における例外的許可制度について具体的事例と共にご知見をご共有いただいたことが、大変参考になった」、「まちづくりの基本的な考え方や進め方のヒントとして、たいへん参考になりました」、「コンパクトシティは、持続可能なまちをつくるための一つの手段であり目的ではないことがよくわかった」といった感想が寄せられました。一方で、人口減少の課題や、改良復旧を推し進めることのできない行政支援への問題も参加者から共有され、姥浦先生が一つ一つ丁寧に回答くださいました。その中で、こうしたリレー講座を事例に、住民が専門家を活用し、事例から学ぶことで「この手法はどうか」と行政との建設的な提案・対話を重ねていくことの重要性をお話されていました。

これから、地域でまちのビジョンについて議論を進めていくにあたり、行政と建設的な議論を進めていくための重要な視点と、具体的なツールをご提供頂くことができました。この場をお借りして、講師を引き受けてくださった姥浦先生、そして会場・オンラインでご参加頂いた皆様、そしてジャパンプラットフォーム(JPF)のご支援に深く感謝申し上げます。





講師派遣:

# ①令和4年度近畿ESDコンソーシアム総会記念公開シンポジウム

6月22日、生命保険や損害保険等、幅広い保険サービスを提供しているアクサグループで実施されている、従業員の方々向けの研修会にお招きいただき、理事の及川幸彦氏(奈良教育大学准教授)から「学校・地域社会・企業が共に歩む防災・防災教育」と、事務局長の大津山光子から「令和元年東日本台風から見えること」として講演の機会をいただきました。

発表の後のパネルディスカッションでは、「全国にいる約8,800人の従業員が地域市民の一員として減災の輪を広げていくにはどういったマインドセットが大切か」、そして「リスク低減という観点で保険会社に期待されることは他にあるか」などをテーマに話し合いました。後でいただいた参加者からのコメントには、「防災・減災対策は必要とはわかっていても、なかなか自分事としてとらえきれずにアクションに結び付けられないので、このような機会を得ることで小さなことでも行動することにつなげられるのではないかと感じた」、そして「個人だけではなく組織としてどのように防災に貢献できるかが具体的にディスカッションされたこと(がよかった)。損害保険の分野においても、備えをしている地域や個人に対し保険料が減額されるというアイディアはとても良いと思う」といった感想をいただきました。

東日本大震災、令和元年東日本台風の被災地における現場の声に耳を傾けてくださったアクサグループの皆様に、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

# ②鳥羽市立鳥羽小学校校内特別研修会

7月27日、鳥羽小学校の校内特別研修会がオンラインで開催され、SEEDS Asiaのテクニカルアドバイザーである滋賀大学特任教授の岸田蘭子先生並びに事務局長の大津山光子が講師として参加しました。南海トラフ地震による津波のリスクと、人口減少の加速化という大きな地域課題を前に、「命をつなぐ、鳥羽をつなぐ」を掲げ、ESDをベースとした防災教育を推進する鳥羽小学校。カリキュラムを全校的で持続的な取り組みとするために、2020年度からカリキュラムマネジメント支援を開始しています。

リアス式海岸の風光明媚な景色が広がる鳥羽のまち。真珠の養殖を始め、主要産業が観光業・漁業という、気候・環境の影響を受けやすいこの鳥羽のまちをつないでいく、次世代のまちの担い手育成に向け、私たちは鳥羽っ子をこれからも応援していきます。

# ③外務省主催「日本・モンゴル学生フォーラム」

8月6日、外務省主催「日本・モンゴル学生フォーラム―自分と未来は変えられる。 日モの学生でSDGsを考えよう!―」の座学研修会がオンラインで開催され、事務局長の大津山光子が「防災×SDGs」の講義を担当しました。

本イベントは、日本とモンゴルの国交樹立50周年を記念するものとして、 両国学生が学び議論することを通じて、相互理解の促進と未来について考え、行動計画へとつなげていくことを目的として開催されています。今回の 座学研修後には合宿研修が9月に開催され、モンゴル文化体験・交流の他、テーマ別のワークショップを通じて活動計画を策定するという、二段階の充実 した交流・研修プログラムが予定されています。9月の研修会で日モの学生さんに会い、実践的なアクションプランへとつながっていくことが楽しみです。

# ④地学団体研究会(長野)・シンポジウムⅢ:「信州の 自然災害と防災・減災を考える」

8月21日、地学団体研究会(長野)・シンポジウムⅢ:「信州の自然災害と防災・減災を考える」に登壇する機会をいただきました。地学団体研究会長野支部は長野県で多発する災害に関し、地学・理工学的な調査を行っている専門家や団体が属している研究会で、本シンポジウムでは、被害の状況、メカニズムの解明、災害予測等の調査・研究が発表されました。同研究会では、「災害研究や防災は、災害の被害報告やメカニズム解明にとどまらず、発災・復興・備え(予測)、地域社会、地域力など包摂的な取り組みが重要である」という認識の下、NPOの活動や報道からみた視点について共有する「災害からの復興、防災からの在り方を問う」というセッションが設けられ、この度発表の機会を頂いた次第です。

発表では、地域で居住する児童のまちに対する率直な想いに耳を傾け、共に課題解決を図っていく「対話」を一過性のものとしないことが、被災地において「被災してもこのまちに住み続ける」という居住地選択につながり、結果として人口の維持、学校の存続、そしてまちの持続化を担保することになるという仮説をたて、長沼地区への復興まちづくり支援を通じて得た言説やデータを中心に考察し、次世代のまちの担い手である児童による意見表明に至るまでの過程を振り返りました。結果として、全戸配布で大人が回答する結果だけでは射程に入らない課題やまちの魅力があることも明確になると同時に、今後ますますこうした声を政策や実践に昇華させていく取り組みが必要であると認識しました。

今後、ますますの研究と実践の融合・協働が求められます。このような研究会を機に、被災地の方々を応援するネットワークが広がり、繋がっていくことを願って止みません。最後に、本研究会にお招きいただきました新潟大学災害・復興科学研究所 ト部厚志教授に心より感謝申し上げます。



# フィリピン

▼台風22号 ライ(現地名オデット)による被災児童・生徒の教育機会の確保に向けた支援を展開しています。

被災地への緊急支援、復旧・復興支援

※本活動は個人寄付並びにジャパンプラットフォームの支援により実施しています。



# 「学び舎をみんなで取り戻そう!」台風22号 ライ (オデット)被災校へのクリーンアップキット貸与/供 与、被災状況調査の実施

12月にフィリピン中部を襲った台風オデットによる復旧・復興のため、 SEEDS Asiaはジャパン・プラットフォーム(JPF)の緊急支援プログラムに て事業を開始し、電力が途絶えた学校への発電機や、未だに校内に倒木や瓦 礫などが散乱し授業の再開に課題を抱える学校へのクリーンアップキットを 供与(一部機材は貸与)しながら、学校の被災状況調査を実施しています。

オデットは暴風による倒木やがれき被害が多く、機材が不足している状況が続き被害から半年が過ぎた今も校庭が片付いていない学校が多くありました。8月半ば時点で倒木やがれきの撤去が進んでいない学校数の情報を更新したところ、対象地区内の被災校552校の内、105校あることが明らかになり、機材の不足を主な理由としていました。本事業によって4月から開始した台風オデット被災校のクリーンアップ作業は、2022年8月末時点ですべに延べ104校で展開され、来月初旬に残り一校を終え、事業はいよいよ完了を迎えます。

フィリピンでは新型コロナの感染拡大で2年以上閉校が続いてきたのですが、被災校の多くが対面授業の再開に向けて動き出しています。学び舎を取り戻すクリーンアップ作業はその一環として実施しています。中でもチェーンソーは扱いが難しいため、バランガイ(フィリピンの最小行政単位)職員や児童生徒の保護者など、経験のあるボランティアに呼びかけて少しずつ撤去を進めています。児童生徒の学びの場を確保するために沢山の大人が関わる姿に子どもたちも一緒に動き出しています。作業中の安全に配慮しつつ、機材提供と人材の調整を支援することによって、みんなで子どもたちの学び舎を取り戻す一助になればと願っています。

この事業はジャパン・プラットフォームの支援で実施していますが、まだまだ多くの学校が支援を必要としています。SEEDS Asiaは引き続き、学校の早期復旧に向けて活動をして参りますので、皆さまからの温かいご支援をお願いいたします。寄付の方法については<u>こちらのリンク</u>をご参照ください。尚、SEEDS Asiaは認定NPO 法人格の交付を受けており個人・法人からの寄付について税法上の優遇措置(税額控除対象)を受けることができます。



# ミャンマー

▼複合的リスクの中にある児童の教育機会の確保に向けた支援を開始します。

被災地への緊急支援 (個人寄付・団体寄付継続募集中)



# 子どもたちへの教育継続支援実施と協力のお願い(継 続)

ミャンマーでは、コロナ禍と政情不安の中、約2年間にわたり学校が閉鎖していました。このままでは、貧困の深刻化など、潜在的な社会課題が大きく膨らみ、より災害に脆弱な状態に陥ることが懸念されます。

長期的な視野に立ち、ミャンマーの未来と「学びたい」という子どもの希望を、温かいお気持ちで支えてくださいますよう、どうぞ、皆様お力添えの程、宜しくお願い申し上げます。

詳細記事はこちら

#### バックナンバーを読む

# アジアの防災・被災地の復興を応援しませんか

SEEDS Asiaの活動は、皆さまからのご支援によって成り立っています。

寄付金は、SEEDS Asiaの活動全般へのご支援として、アジア各地での環境・防災、被災地の復興に向けた活動に活用させていただきます。

# 尚、弊団体は認定NPO 法人格の交付を受けており、個人・法人からでも

ご寄付額に応じて税法上の優遇措置(税額控除対象)を受けることができます。

皆さまからのあたたかいご支援・ご協力をお願い致します。

## ▼緊急支援に賛同する

銀行振り込みの他、クレジットカードによるオンライン決済、携帯 電話料金との同時引き落としも可能です。ご不明な点等ございまし たら、お気軽にお問い合わせください。

#### 銀行振込

三井住友銀行 岡本支店 口座番号:普通 0571188

口座名義:特定非営利活動法人SEEDS Asia

#### 郵便振込

口座番号:00960-7-207240

口座名義:特定非営利活動法人 SEEDS Asia <トクヒ)シーズ ア

ジア>

### オンライン決済

下記のロゴをクリックしていただくか、こちらの日本財団による <u>CANPAN</u>(オンライン決済のページ)、あるいは<u>ソフトバンクのサ</u> イトにてお願い致します。

注:決済システム上、領収書(税額控除対象証明書)の発行が時期 によってはご寄付から約1か月後となりますこと何卒ご了承くださ い。

尚、<u>ソフトバンクサイトでのご寄付につきましては、**自動的に匿名**</u> **扱い**となってしまいますこと、何卒ご了承くださいませ。



# ◎◎つながる募金

# **賛助会員・インターン・ボランティア・** を募集しています!

#### ▼賛助会員になる

SEEDS Asiaは賛助会員(一口3,000円) を募集しております。毎月の ニュースレターの他、SEEDS Asiaが主催する様々なイベントへの ご案内や特典、実施国の情報等を受け取ることができます。

#### ▼正会員になる

防災支援に関わる技術や専門性、活動を通じた支援が可能な方は正会員(一口10,000円)となっていただき、緊急支援調査チームや防災 啓発イベントの運営をお手伝いください。

#### ▼イベントに参加する・講演会の実施

国内においても、防災キャンプや講演会、啓発イベントなど災害に負けない人づくりの支援を実施しています。講師派遣も行っておりますので、ご検討いただける方はrep@seedsasia.orgまでご連絡ください。過去のイベントはこちら

## ▼インターンになる

国際協力や環境問題の改善、防災教育に興味があり、活動を共に支えてくださる方々を歓迎しております。是非ご連絡お願いします!

#### <u>▼ボランティアをする</u>

イベント活動や翻訳などのお手伝いをしていただける方を募集しております。 SEEDS Asiaに興味を持っていただいた方、環境問題や自然災害・防災教育などに興味を持たれている方は、是非ボランティア登録を行ってください。 翻訳が必要になった時やイベントの実施に合わせて随時事務局からご連絡致します。





















ニュースレターは会員の皆様の他、関係者の皆様、スタッフと交流させていただい た皆様にお送りしております。ご変更の場合は、お手数ですが本メールまでご返信 ください。

認定NPO SEEDS Asia 日本658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本1-7-7-307 TEL 078-766-9412

配信解除 配信設定を変更

今すぐ無料でEメールを送信

Huospist